

第2回学校運営協議会記録

1 学校教育計画（令和2年度～令和5年度）

- コロナ禍により、生活に変化がおきています。変更点は、大切な内容が含まれていると思います。学校・家庭・地域のつながりが大切であり、人は、支え、支えられて生きていることを実感できる高校生活であってほしいと思います。
- 意見、ご反映頂きありがとうございます。「進路」の「保護者・家族とともに」の追記等、指摘した以上にお考え頂いており、現時点で十分以上と評価します。11月17日、知事主催の総合教育会議に出てきました。湘南高校校長によるコロナ禍での授業ICT化等のレクチャーを基に話が進みましたが、席上、家計逼迫による進学断念が増える予想を踏まえ、中等教育の、従来の進学準備だけではない、全人格教育の完成も含めた見直しについて、折しも高校改革再編中でもあり、改めて取り組み直すべきことを発言しておきました。例として旭高校の、生徒主体の学校づくり（開かれた体育祭文化祭、生徒達自身による中学生対象の学校説明会等）、地域の各種施設との連携を考えたプロジェクト（ライフ、コミュニティ・スクール指定等）、防災連携活動による通学意識・地域の見守り意識の向上、について話題にしておきました。自信を持ってお取り組み下さい。

2 令和2年度 学校評価報告書 校内評価（中間評価）

1. 教育課程学習指導

- ② 授業改善に組織的に取り組み、基礎学力の定着を図り、思考・判断・表現する力を伸長することで、主体的に活動できる人材、いつでも社会に出られる人材を育成する。
- 「生徒による授業評価アンケート集計後の取り組み」とあります。先生の経年も違いますので、「組織的な授業改善に取り組む」ことは、大切なことだと思いますので、今後も注力してほしいと思いました。
- 9月アンケート実施から11月授業改善週間までにタイムラグがあり、機会損失になっていないか気になりました。全体での授業評価アンケートは意味があると思いますが、学力の3要素を伸ばすためには、各教科さらには、各授業回での理解度をはかる工夫が必要なのではないかと考えます。部活動を中心として活気ある学校として生徒や保護者、外部からも一定の評価は得ていると思います。しかし、お世辞にも立地が良いとは言えず、これからは学校教育目標の一つでもある「学力の充実」が問われるように思いますので、あえて上記の通り記載させていただきました。アンケート結果を確認していない段階の記載となりますが、ご容赦ください。
- コロナ禍における新教育課程編成は、校種問わず大変な作業だったと思います。子どもたちのために、ありがとうございます。アンケート集計結果が気になるところです。

2. 生徒指導・支援

- ① 基本的な生活習慣の確立を図るとともに、社会の一員として行動するための規範意識を高める。
 - 挨拶をしなくなる年頃ですが「6割以上」と学校の雰囲気が良いと思います。都筑祭でも、声かけや、PTA へのお手伝いを自発的にしてくれて、心が温かくなる1日でした。
 - 文化祭等で培われるコミュニケーション能力は、大変価値あるものと思います。その能力が社会で通用するための教育的アプローチが大切だと思います。
 - 挨拶について達成6割以上となり、基本的な生活習慣の確立が図られ、コミュニケーション能力が育まれていると感じた。
 - 学校行事の中止や縮小が余儀なくされる中での文化祭実施。生徒たちにとって意義ある活動となったのだと感じます。その中で学校職員の支援が大きく、教職員の努力があつての活動と思います。

- ② 自己理解・他者理解を深め、自他を尊重できる人間関係を築き、いつでも社会に出られる（社会に通用する）コミュニケーション能力を育む。
 - 生徒の演出が、都筑祭を満足する行事にしたと思います。（準備から当日）華道部・美術部・ライフル射撃部・22R・15R など工夫を凝らしていて、私も学生時代に戻り楽しみました。
 - 文化祭での満足度が高く、コロナ禍で制約された生活の中、生徒たちが生き生きと活動している様子が目に浮かびました。先生方のご尽力に敬意を表します。遅刻指導については多忙な先生方の負荷にもなっていると思います。指導することと別の仕掛けの検討も必要だと思いました。これが旭高校でも有効かはわかりませんが、他校では朝読書を導入し、改善されたという例を聞いたことがあります。基本的な生活習慣と学力には相関関係があるという学術記事もあり、重要な問題と捉えています。

3. 進路指導・支援

- ① 学習意欲に結び付けるキャリア教育を展開し、保護者・家族とともにライフプランの実現ができるようなキャリアデザイン能力を身につけさせる。
 - 指定校で入学しても、学力が足りず退学する（学力差あり）と一般的に言われています。旭高校も例外ではないとのこと。合格後の個人の努力と学校の授業でのフォローはできないのでしょうか？
 - コロナ禍でのオンラインの対応は、教職員のご苦勞があつて成立できたと思います。ありがとうございました。さらにスタディサポートの検証はき

っと今後に役立つと思います。

- スタディサプリ等のツールを駆使し、学びを継続されたことについて評価しています。また、今後 ICT への対応は必須と思いますので、先生方の負担を減らす意味でも活用される(できる)先生が増えることを期待しております。全国的に安全志向により指定校推薦に頼る生徒が増えていると聞いています。指定校推薦方式に頼る生徒にこそ、本人のためにも「大学で学ぶことの意味」を見つめ直す機会を設けてほしいと考えます。
- 授業の展望を想像し、具体的に想定できるような進路指導、学習指導の大切さが分かりました。学力の不安が少しでも取り除かれたらいいと思います。

4. 地域等との協働

- ① 学校と地域の連携協働の「現状と課題」を把握し、改善を意識した学校運営協議会を運営する。
 - コロナ禍に対応した柔軟な運用がなされていると思います。
- ② 学校と地域の連携協働の促進により、地域連携部会において生徒と地域の両方の将来を考えていく開かれた学校づくりを進め、地域の力を学校運営に反映させる。
 - 教育現場においては、中学校では、職場体験、大学では教育実習などが位置づけられています。高校でも、もしこれに類する活動があれば、そこでも地域との連携が図れるかもしれません。高校生が小学生とふれ合う機会が持てたらありがたいです。

5. 学校管理 学校運営

- ① ICT を活用したさまざまな活動を支援するための教育環境を整備する。
- ② 生徒の防災意識・感染対策意識の向上に努める。また、SDGs を推進するための意識を醸成する。
 - コロナ感染対策を学校一丸となり実施されていることが、素晴らしいと思います。
- ③ 情報を迅速に発信し、開かれた学校をつくる。
 - 新ホームページが見やすいと思いました。

旭高校の説明会は、コロナ禍での工夫をされていることがわかりました。
 - コロナ禍で生徒とコミュニケーションをはかるための対応、感染症対策等々に適切に対応されていると思います。ICT 化推進のための仕組みづくり、説明会の内容の充実、ホームページのリニューアルなど前向きな取り組みをされていると思います。
 - ICT やリモートの環境を整えようと、小学校現場でも急激な変化を求められています。防災や感染症予防も含め、多岐にわたるリスク管理が求められる時代になりました。足し算ばかりでなく、どこかで引き算できないか、探って

いく必要があります。

6. 全体に関して

○コロナ禍での学習の取り組みは非常に大変なことであると思います。

その中で、評価の観点から「学習への取り組み時間が増えた」、あるいは「オンライン環境を活用した学習・進路指導ができた」とありますが、校内評価では「生徒が自主的に学習していたか」については、具体的にその様子が表示されていない気がします。教師が生徒の学習に対する現況を検証し、それに基づいて意欲のある姿勢で学習に取り組めていければ、大学進学の結果も上がってくるのではないかと思います。

○いつも通りの学校生活ができない中工夫して感染予防と学校行事遂行に苦慮されたと思います。その中でも文化祭のアンケート9割以上ができた又は良かったと回答している事へ安堵いたしました。安心安全な学校運営と生徒は希望を持ちながら学校生活を送って行って欲しいと思いました。

○コロナ禍で、新たな取り組みの実施報告があちこちに見られ（HPも、動画も含め素晴らしいです）、教員のみなさんの、それでも何とかしようとの熱意が伝わり、大変頼もしく思います。とりわけ、ICT活用に向けての（若手を囲む？）教員のみなさんの頑張り！

突然の臨時休業期というアクシデントも、家庭学習期間（進路・支援における記述）と捉え直せば、これまで課題だった「家庭学習時間の確保」「家庭学習課題の工夫」等の、生徒・教員両面での課題に取り組みなおす、むしろきっかけともなり、両者合わせて、これまで漠然としか考えられていなかったかもしれない「旭高校に（毎日）通う（通える）」ことについて、改めて、どうということなんだろう、どういう意味・どこまでの意義を持つことなのか、を考えさせられるきっかけになったであろうことが、ひしひしと伝わるように思われます。災い転じて福となす、是非、こうしたポジティブな意識の芽生えを、今後活かしていただきたいと思います。

3 その他

○計画作成時点での課題の中に、大学進学希望を持ちながらとありますが、達成状況を見ますと、課題は大きく感じられます。

○4月当初からのオンライン代替授業により、家庭学習が一定時間とれていたと思うが、通常授業に戻っても家庭学習の時間が確保されているか、スタディサポートの結果で学校の課題が見えてくると思う。進路選択で指定校に頼る生徒が多くなる中、大学に入るまでに必要な力をつけておかないと、入学後に苦労するので、希望数を絞り、安易な選択をしないような配慮も必要だと思う。

○コロナ禍の中で、教師も生徒も制限を受けていますが、頑張ってください。生

徒の未来を方向づけるのは高校の3年間です。

○多くの高校が文化祭の中止、実施しても保護者入場不可の対応が多い中、都筑祭を行ってくださり、ありがとうございました。
生徒たちの元気に活動している姿は、逞しい姿で、輝かしかったと思います。

○学校便り（HP内）は、楽しく読ませていただいております。

○先述の総合教育会議で話題になったことで、気になったことを一つ書いておきます。「学校評価報告書中間報告」には出て来ませんが、コロナ禍により不登校者の教育機会に光が当てられたというポジティブな評価の反面、極度の潔癖症の児童生徒（保護者も含め）で、一度も登校できていない例がある、との報告がでてきています。進学断念による心の傷も含め、むしろ年度末、新年度に向けて本当のメンタルなダメージが見えてくる、と思われそうですが、会議でも発言があったのですが、教員にも同様の想いを抱えている例はあるはずで、それでも登校し続けなければならないという職場の状況は、巷間喧伝されている医療者のメンタルの負荷に匹敵するものがあるとの見方ができます。管理者のみなさんには、是非、こうした、ここまでの何とかしなければならぬという緊急事態に向けた熱い思いの裏にある、メンタルの影の負担の部分にも、充分お心配りをして頂きたいと思います。よろしくお願ひします。

○コロナの中ガンバって下さい。

○文化祭において地域の方や中学生などの参加はなかったようですが、9割以上の生徒が「できた、よかった」と答えている。コロナ禍であっても与えられたことから考え、結果として満足できているように感じられ嬉しく思った。
○達成状況のご報告、ありがとうございました。

子どもたちが、このコロナ禍の中でも、少しでも充実した時間が過ごせるように、小学校も最大限の工夫、努力をしています。貴校の中間評価を拝見し、小学校も更なる工夫をしていこうと思ひました。